

## 藤沢バラ会の御案内

# 日本大学生物資源科学部と歩むバラの世界

藤沢バラ会 尾形英男

われらが藤沢バラ会は、平成2年当時の日本大学農獣医学部（現生物資源科学部）の故佐々木教授と現藤沢バラ会名誉顧問 大月氏によって地域社会へのバラ育成のための知識と普及活動を目的として設立されました。

この設立の経緯から、現在も藤沢バラ会は現日本大学湘南校舎の生物資源科学部（旧農獣医学部）と深く結びついた会となっており、下記のようにバラ会の年間行事にもそれが反映されております。

- 1) バラ会会員の定例勉強会及び実習は、日大付属農場施設であるバラ園及び実習センターを利用して行っております。
- 2) 秋のバラ展は、日本大学湘南校舎の大学祭である“藤桜祭”において日大生と共に開催し学生の作品も展示しております。

次に個々の活動について少々述べさせていただきます。

### 日大バラ園

日大生物資源科学部の付属農場施設の一つとなっているバラ園は、藤沢市の丘陵地に位置し、学生の実習の場となっていると共に、我々藤沢バラ会のホームグラウンドでもあります。このバラ園には約200種1000株のバラが植えられており、人名のついた品種の花壇、原種からオールドローズまでの品種の花壇、コンテストに向けた品種の花壇等々工夫を凝らしたバラ園となっております。また地域住民にも無料開放されていますので、花の季節には家族連れやアマチュア写真家等多数訪れ賑わいを見せております。又、バラ園全面を透水性のあるタイルで覆い、バリアフリーにもなっていますのでお体の御不自由な方にも愛されております。

藤沢市の姉妹都市であるカナダ・ウィンザー市から1999年に藤沢市に送られ、日大に生育を委託された深紅のバラ“シティー・オブ・ウィンザー（ネル・マーティン）”も見ることが出来ます。

このバラ園の一角の花壇が藤沢バラ会用として、

当会大月名誉顧問作出のばらを初め会員の方々の作出したばら達が植え付けられております。又、春秋の剪定、花後の管理や植え付け方法等の藤沢バラ会の勉強会と使用されております。特に剪定の実習の折にはバラ園のばらを思い切って切り込むこともでき、初心者の方の多くの方が弱剪定になりがちであることから、その実習の感覚が残っている間に各自各様の自宅にての選定を行うよう指導しております。

### 藤桜祭 秋のバラ展

藤沢バラ会秋のバラ展は日本大学生物資源科学部の大学祭である”藤桜祭”の期間に学生と共同で開催しております。このバラ展では翌年の春のバラ展（一昨年までは藤沢さいか屋、今年から神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン）のサブテーマを試行して見付を初めとする飾り付けを行い、予行演習も兼ねて行っております。またバラ展会場の中心には学生達の活けたアレンジを配し、時にはそのアレンジに対する指導や助言等会員が行っている光景も目にする楽しい秋のバラ展となっております。最終日には展示に参加された学生委員を交え、お茶とケーキで反省会を和気藹々として行っております。生物資源科学部花卉園芸学研究室より参加する学生は毎年3年生と決まっております、年々違ったメンバーとなりますが、会員にとっては子や孫とのお付き合いに似て、若いエネルギーをもらう場ともなっており楽しいものです。

又、藤桜祭では学生達が育てた野菜等は新鮮かつ廉価で、超人気を博し主婦をくすぐるイベントです。我がバラ会の女性軍も一般市民に変わりなく、バラ展当日の朝は、自分の作品の手入れが終わるや否や皆さんこぞって販売の店頭へ駆けつけておる様に見受けられます。

このようなすばらしい環境にある地域バラ会は日本でも稀有であることを誇りに思い、大学と手を携えてバラの普及活動に邁進して行きたいと思っております。